

令和2年10月末日

契約者各位

Prince-King 株式会社
代表取締役
井手 広司

半期報告書

日経225助言メールサービス

令和2年4月1日～令和2年9月30日までの期間における半期報告書を作成いたしました。

1、当該期間の状況について

新型コロナウイルス感染拡大により、経済的なダメージが懸念され、令和2年の2月から3月にかけて大きく株価は下落しました。その後、5月の各企業の決算発表では、あらゆる業界の業績は悪化し、さらには通期見通しが立てられないほどの深刻な状態であり、さらなる株価の下落が見込まれました。

しかしながら、日本銀行による上場投資信託（ETF）の買い入れや、アメリカ連邦準備銀行（FRB）による債券の買い入れにより、市場へ資金が流入し、実体経済に伴わない株価の上昇が続きました。結果として、日経平均株価は、コロナショック後の最安値16,358円（令和2年3月19日）から23,623円（令和2年9月29日）にまで回復しました。

2、当該期間の日経225助言メールサービスについて

当該期間の日経225助言メールサービスの状況は、8回の助言メールを発信し、累計損益率は-8.6%となりました。メールの内容は売りメールが7回、買いメールが1回と、下落を見込んだ判断が目立ちました。

日経平均株価は2～3月にかけた大きい下落から3月19日に大底をつけ反発。その後、3月25日に山を形成し、4月14日に山を切り上げて中期上昇トレンドに乗りました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大による経済的ダメージから実体経済が回復したとは言えず、企業決算発表は減収減益が目立ち、ファンダメンタル分析からするとさらなる下落が見込まれたため、売りの判断が先行する結果となりました。このように株価で売買判断するテクニカル分析を疎かにしてしまったことが、今回の敗因であると考えます。

また、当該期間はデイセッション終値とナイトセッション始値のギャップが大きい傾向があったため、約定価格を範囲指定することで、より有利な価格でエントリーできるよう図りました。指定した範囲とナイトセッションの実際の価格変動を見て想定約定価格を見積もり、想定損切価格と想定利益確定価格を算出し、実績表に掲載しております。

(注) 累計損益率とは、各取引による取引実績を単純合計したものであり、運用資産の利回りを表示したものではありません。算定基準とした価格は、メール送信時の日本取引所グループ発表の価格をもとに算定しております。

また、当該期の運用成績に関しましては、運用分析能力の向上と、2018年2月13日に運用変更した、複数枚数発注による「半数 OCO 注文利用」が有効に作用したものと考えております。

3、今後の運用に関して

ファンダメンタル分析にとらわれ、本来テクニカル分析重視の当社の投資法に則さない売買判断を下していたことが今回の失敗の要因です。前期以上の運用成績を確保すべく、テクニカル分析をさらに磨き上げ、刷新し、研究してまいります。

また、有利な価格でエントリーするための、約定価格の範囲指定により、さらなるリスクヘッジを行ってまいります。データの分析から、より一層精度の高い新規注文のタイミングを検討しております。最適の投資判断をお届けすべく、リアルな投資方法の研鑽を重ね今後さらなる利益追求をしてまいります。

引き続き「日経 225 助言サービス」にご期待ください。

以上

※金融商品取引業者の表示

登録 投資助言業 九州財務局長（金商）第12号

商号 Prince-King 株式会社

加入 一般社団法人 日本投資顧問業協会

手数料等 プレミアム会員 入会金 0 円、月会費 20,000 円

他の PK クラブ会員 入会金 0 円、月会費 25,000 円

一般 入会金 45,000 円 初年度月会費 45,000 円（次年度以降 35,000 円）

※金額はすべて税別表示。別途消費税が必要です。